

## 平成 23 年度第 1 回海老名環境審議会議結果

日 時：平成 23 年 5 月 17 日（火） 10：00～12：00

場 所：市役所 7 階 703 会議室

出席者：委 員：木内会長、伊藤副会長、白石副会長、松本委員、安彦委員、森田委員、  
金指委員、渡邊委員、吉岡委員、吉田委員、勝田委員

事務局：瀬戸部長、平本次長、岡田課長、押方係長、武井主査、吉野主任主事

公園緑地課：石田課長、井上課長補佐、篠原主査

傍聴者：なし

### 1 開会（進行） 岡田課長

### 2 市長あいさつ 内野市長

おはようございます。環境審議会委員の皆さまには、お忙しい中ご出席いただきまして、心より感謝申し上げます。ご承知のとおり、3 月 11 日の東日本大震災により大きな被害が出ております。また、福島原発の問題により、エネルギー問題、特に電力の問題が大きくクローズアップされていますし、環境問題も注目されております。

被災地に対する対応は、白石を中心に行っており、石巻にも派遣している。避難所も縮小されてきているが、まだまだ、復興には厳しい状況にあります。

5 月以降のイベントにつきましては、実施することで、海老名の街がより元気になって、その元気を東日本に届けていこうということで動いているところでございます。

夏場の節電対策については、国の方針が一般家庭等 15% の節電という方針が出されました。海老名市の公共施設については 20% 以上を目標にいたします。一般家庭においては、15% を目標にやっただくことを働きかけていきます。

市の具体的節電対策としては、本庁舎の業務を 7 月 1 日から 9 月 30 日までの 3 ヶ月間、水曜日の午後を閉庁し、その代わりに土曜日の午前中を開庁する。ピーク時の電力を 10% 削減することができますし、土曜日を開庁することにより、市民サービスの低下ではなく、より拡大ができると考えております。市民のみなさまが混乱しないように、周知を徹底していきたいと考えております。

その他、公共施設は、照明を 50% を削減、冷房については 12 時から 6 時 30 分までの間、使用しないというように考えております。必要な部分は削減できないので、保育園や保健の関係などは除外します。ナイター設備については、すべてのナイター設備が平日の夜は使用できないこととしますが、土日については、働いている方などがいますので、使用可能とします。

それと同時に地域防災計画の見直しも行っております。また、本日、議会運営委員会がありまして、議会も普通は 6 月の初めに開会しまして、6 月の後半に終わるのですが、

5月の後半に議会を始めていただいて、6月の前半に終了する。できるだけ節電が必要のない時期に開催しようと議会にご協力いただいております。

様々な面で皆様にご迷惑をおかけしますが、よろしくお願ひしたいと思ひます。

本審議会では、諮問事項として自然緑地保存樹木の指定と環境政策課の予算事業概要、環境フェスティバルの概要について報告させていただきます。えびな環境大賞については10数件申請がありましたが、審議会で選考していただきたいという形になっております。

今後も環境行政にご協力いただくことを願ひまして挨拶とさせていただきます。

### 3 会長あいさつ 木内会長

ご苦勞さまです。本日は、平成23年度の第1回の環境審議会でございますが、先ほど市長から東日本の地震の関係で、市役所の対応などの話がありましたが、復興はまだまだでございます。私はまだ現地には行っておりませんが、もう少し落ち着いたら行こうと思っております。

東北人は強い。我々はこのように時に何をすべきか。一人一人がその気持ちになって、このような事態を乗り越えていかなければなりません。皆様のご協力を心よりお願ひしたいと思ひます。

今日の審議会、議事に従って進めてまいりたいと思ひますので、ご協力をお願ひします。

————— 内野市長から木内会長に諮問 —————

事務局：5月1日付け人事異動に伴う職員紹介

事務局：委員過半数出席により会議は成立です。

### 4 議 事（海老名市環境審議会条例第7条第1項に基づき会長が議長）

#### （1）諮問事項：自然緑地保存樹木の新規指定について

公園緑地課より資料に基づき詳細説明

（質疑等）

議長：このことについて、何かご質問のある方はどうぞお願ひします。

委員：倒れた場合はどうなるのか。

公園緑地課：倒れた場合は解除となります。

議長：台風などでも倒れることはないと思うが、枝が折れたりする。

公園緑地課：枝が折れても幹があれば解除なりません。

委員：倒れても復旧すれば解除にならないのか。

公園緑地課：はい。

委員：樹齢は何年ぐらいなのか。

議長：少なくとも50年以上は経っている。

議長：いろいろご意見も出ましたが、他に意見がないようであれば、了承するということ  
でよろしいでしょうか？

⇒了承

答申については、会長・事務局に一任ということよろしいでしょうか？

⇒了承

## **(2) 報告事項・・・事務局説明**

### **(1) 平成23年度環境政策課予算事業概要について**

(質疑等)

委員：公害対策推進事業費について、放射線の測定についての項目がないのか。

事務局：公害からは除外されております。市民からの問合せ等については、それぞれの部  
署で対応しています。市としての窓口は政策経営課危機管理係です。

委員：海老名市でも測定器は持っているのか。

事務局：測定器については、消防署で簡易的なものを所有しています。放射線の測定に関  
しては、県内の足柄茶の茶葉から出たので、県は、緊急的に厚木と小田原と足柄  
上郡合同庁舎で測定して、そのデータを公表しております。

委員：放射能の問題は、国会や国でも法律が違うので各部署で対応するということである  
が、これを一元化することが望ましい。情報の出し入れ口を一元化することが市民  
の声としてあるのが、組織のトップとして、どのように考えているか。

事務局：今のところ、関係する情報機関のそれぞれの数値を公表することで対応している。

この問題を、具体的に市町村レベルでどう対応するかについては、具体的な検討  
にまでは至っておりません。直接、生活する市民の皆さまの不安があると思いま  
すが、どんな対応をすべきか、検討の余地があると考えています。

議長：現実に、海老名で農産物などについて測定したことはあるのか。

事務局：県において測定している。数値的に問題はありませぬ。今のところ海老名市内で  
数値的な異常が出ておりませぬ。

委員：ほうれんそう、小松菜、キャベツなど測っているか、すべて基準値以下である。

県農政部とJAでやっている。風評被害への対策や体制がまだできていない。市場  
に対する環境を考えると、体制が整っていないので公表できないので困っているよ  
うである。

委員：情報を伏せているから風評被害が大きくなってしまう。正確な情報を公表すれば、  
それぞれ判断できると思う。

国も地方行政も粒さに報告してもらいたい。

委員：海老名でもお茶を個人的に作っている人もいるが、測る機械がない。心配でも何もできないようである。

委員：各事業予算が決まっている中で、対応できる予算はあるのか。

事務局：環境政策上、必要となれば補正対応となります。直近の6月議会において「震災対策」として補正予算を組んでいます。今、話題となっている部分については、環境政策で補正を組むという準備はしていません。

委員：「菜種」は放射能の吸収力が非常にある。「菜種」や「ひまわり」に吸収力があると言われている。今後も、「菜種」を作っていきたい。海老名で「菜種」を作ったことにより、どれほど注目を浴びるか、期待をしているところではある。

「菜種」の栽培について、何か施策等あるか。

事務局：海老名市内でも、相当の放射能レベルが上がるのであれば、取り組む必要があると考えています。情報を収集しながら検討してまいりたい。

委員：環境基金について、放射能の測定器の購入資金に充てるとか、または、予備費として、東海地震などの非常用として、とっておくなどの必要もあると思うが、そのあたりの考えはあるか。

事務局：基金についての用途については、課題として捉えております。

環境に対する施策に注入するという事で、市と市民の両者にプラスとなる事業に注入するものでありますので、資料には記載されておきませんが、市民の環境に対する活動への補助金に対する財源として拠出する方針となっております。

委員：電気自動車の導入にあたり、どのような経緯で基金を注入することになったのか。

事務局：電気自動車に係る費用については、リースの初年度の分のみ基金を注入し、2年目以降には、一般財源から拠出しております。

電気自動車の導入については、市民へのPR、公用車として使用するという目的があり、電気を作る際にはCO<sub>2</sub>を排出しておりますが、電気自動車は走行中の温室効果ガスの排出がゼロであります。温室効果ガス排出削減25%の目標に貢献する施策の一環として電気自動車の導入・普及などのプランを立てた中で導入しました。

市民へのPRや公用車として活用、事業所に貸出・試乗していただき普及のためのアンケートなども取りながら活用しております。

電気自動車導入に基金を注入することへのご意見もあると思いますが、行政としては、適切な施策として判断し、活用させていただきました。

市民へのPRや普及促進ができていないということであれば、反省点として今後活かしていきたいと思っております。

委員：「電気自動車＝エコ」というのは間違っている。確かに走行中の温室効果ガス排出量はゼロであるが、電気自動車を作る時や廃棄する時にはCO<sub>2</sub>を排出する。今の電

気自動車はCO<sub>2</sub>を作っていることになる。

原発についても、CO<sub>2</sub>は排出していないが、大量の汚水を海に流している。原発の発電効率は良くても20%、最近の火力発電効率は50%。

要は、50年使うと1650年分の環境を先取りしているといった考えでないと、本当のエコにはならない。

委員：電気自動車導入の目的については分かるが、電気自動車導入になぜ基金を充てるということになったのか。市は公用車として利用できるし、事業者は販売するので利益がある。市民には導入してもメリットはない。なぜ、基金を使うという話が出たのか。環境基本計画事業の中で計上して導入すべきではなかったのか。

事務局：資料にあるのは平成23年度予算であります。平成21年度・22年度において当たったということでございます。なぜ、導入するのかという入口でのアナウンス不足については否めないという反省点はあります。

委員：今後、電気自動車を導入する際には基金を使わないということか。

事務局：そのことについては、検討の余地があります。本当にエコなのは何なのか。市にとって何が良いことなのか。それが環境に良いことであれば、環境基金を使う事をPRした上で予算化していきたいと思っております。

委員：市民のためとなるような選択をしていただきたい。

事務局：行政が、新たに開発・事業化するものに対して一緒に進めていく、支援していくということは必要だと考えています。行政が先導するといった役割で開発途上である車などを導入し、次々に商品開発され市民レベルまでの開発がされるといった考えもあります。今回の電気自動車も同じと考えております。身近にみて、触ってという場の提供は行政の立場としての役割ではないかと思っております。

環境基金をどこに使うのか。という疑問も委員の皆さまの中にもお持ちだと思っておりますが、市民の総意であるということも位置付ける意味でも、委員の皆さまの意見を聞いて執行していきたいと思っております。市が予算化するにあたり、皆さまにおおよそ賛同いただけるようであれば、市民の方にも説明できるだろうと思っております。そういう場を環境審議会の中で作っていきたい。

事業を行うにあたって、市の単独なのか、国や県の補助金メニューがあつて行うものなのか。国や県の補助金メニューを活用することによって、ある程度認められた事業であるという認識から導入しやすくなると思います。電気自動車もそういった意味で導入し、基金を活用させてもらったと思います。

今後は、説明と意見をいただくことを徹底してまいりたいと考えておりますので、よろしく申し上げます。

委員：ハイブリッド車導入の際の予算は。

事務局：当時は環境基金はなかったので、市の単独予算です。

委員：電気自動車も市の単独でできたのではないかと考える。海老名市は県内でも、新し

く出たものにすぐ飛びつくように思えるが。

事務局：トップランナー的施策は、評価される部分があると思います。逆に、思いつきであるというご意見もあると思います。大変難しい問題でありますので、慎重に進めてまいりたいと思います。

今後、皆さまのご意見を伺いながらやっていこうと思いますので、よろしく願いします。

委員：環境基金は、緑化基金と合わさって「環境基金」となったと思う。この基金の運用の話だと思うが、運用に係る委員会はあるのか。

事務局：委員会はありません。

当審議会は、毎回、自由に開催できる訳ではありません。補正予算等を組む時に意見を伺えばいいのですが、今回も事後報告ということになってしまうのですが、夏の15%節電キャンペーンに基金を活用させていただきたいと思っております。

皆さまのご意見を聞きながら、独断でやることはないように、審議会での同意をいただかないと進めないようなシステムにしてまいりたいと考えております。

委員：基金の性格については、寄附する方はどのようなものに使ってもらいたいか願いがあって寄附しているのです、目的を明確にすることで基金の増大に繋がると思う。豊かな海老名を作っていくといった、持続可能な社会や環境を実現するための運用をお願いしたい。次の世代に財産として残せるように、啓発も大事だと思うが、寄附した方の気持ちが反映できるような活用をお願いしたい。

## **(2) 平成23年度環境フェスティバルの概要について**

委員：毎年、ビックサイトで環境展が開催されている。ものすごく大きい。海老名市の啓蒙や勉強の意味もあると思うので、ぜひ見に行ってもらいたい。

事務局：今年度については、例年と同様の形で開催させていただくが、次年度以降については、庁舎内ではなく、もっと広い場所での開催ができないか検討しています。今より規模を大きくし、場合により他のイベントとコラボレーションするなどして多くの市民の方に見てもらえるような方策ができないか検討をしております。

委員：他に質問がないようなので、次に進みたいと思います。用意された議事についてはすべて終了しましたので、議事進行を事務局へお返しします。

## 5 えびな環境大賞の審査・選考

### (事務局：審査方法を説明)

選考にあたっての意見

- ・部門別に分かれている方がよい。
- ・個人、事業所、団体の分けがあった方がよい。
- ・情報として、取り組みが事業化されているのか、そうでないのかなども必要。
- ・申請書の作り方について、書き手の慣れ・不慣れによる見た目の差が出るので、申請書の書き方にも検討が必要。

事務局：地球にやさしい家庭づくりの一環として、省エネをテーマとしたエコ川柳コンテストとわが家のe c oコンテストを募集し、15日に締め切りました。

こちらの投票を審議会委員の皆さまにお願いしたいと考えております。応募された作品について、一次選考を行った作品数の中から委員の皆さまに投票をお願いします。

事務局：先ほど、お話をさせていただきました節電の件ですが、国が15%節電ということですので、環境政策としては、省エネ活動の中に節電があるという考えから、広報を通じて市民に投げかけ、7月から9月までの3ヶ月間において同年同月比で15%節電をクリアした世帯に500円程度の商品（白石市の物産品）を贈呈するキャンペーンを行う予定でございます。予算としては、基金から1000万円を計上してございます。

委員：白熱電球をLEDに交換しても、昼間は省エネにならない。LEDの光は直線型なので、真下しか明るくない。最近では、拡散型も出てきているようだ。

委員：関西の震災では、オール電化が進んだ。東北の震災では、ガスの普及が進んだようだ。ガス台の高齢者用として、消えるタイプや鍋を乗せていない場合は火が小さくなっているようなものもある。

## 6 閉会 白石副会長あいさつ

これからについては、危険な要素の対策として、世の中のシステムを市民にとって、安心・安全なものにすること。被害があっても広げないという対策が必要。

新しい技術開発にはお金がいかない。科学技術が文明を支える。焦点を合わせて基金を有効に活用してもらいたい。

本日は、ありがとうございました。

事務局：本日は長時間に渡り、ありがとうございました。これにて、平成23年度第1回海老名市環境審議会を終了とさせていただきます。